



せせらぎ

令和8年8月25日
富士市立原田小学校
学校だより 9月号

(令和8年度 重点目標) やってみよう! みんなのために 自分のために

学校が再開、まずは体調を整えましょう!

夏休みが終わり、本日より学校が再開しました。夏休み中のことを子どもたちに聞いてみると、普段の生活ではできないような貴重な体験をした子や、家族との時間を大切に過ごした子、宿題や課題に目的意識をもって一生懸命に取り組んだ子などいて、どの子も充実した夏休みが過ごせたということが感じられました。また、原田小学校の子どもたちが、事件や事故等に遭わず健康・安全に32日間の夏休みを過ごすことができ、元気な姿を見せてくれたことが、私たち教職員にとっては何よりうれしいことでした。夏休み明けすぐは、なかなか体調の整わない子どもも見られます。なるべく早く生活リズムを切り替えて、規則正しい生活ができるようご家庭においてもご支援をお願いします。



たて割り清掃

夏休み前の7月8日、初めての試みとなる「たて割り清掃」が行われました。これまでのたて割り活動では、昼休みなどに主に6年生が計画して一緒に遊びをしたり、年度末にみんなでお弁当を食べたりすることはありましたが、たて割り清掃は初めての実施でした。掃除の仕方を高学年のお兄さん・お姉さんに教わったり、異学年での新しい交流を深めたりするとともに、学校を大切にする気持ちを育むことがねらいでした。子どもたちは、高学年を中心にグループの仲間同士で声を掛け合い、清掃場所を分担して、どの子も一生懸命に活動したので校舎内はピカピカになりました。



たて割りの仲間で、廊下の拭き掃除!

防災食を味わう日

夏休み中の7月28日の夕方、熊本で最大震度7の地震が起きました。住宅など建物の倒壊や、大型商業施設のガス爆発なども発生して、大規模な災害となってしまいました。私たちの住む静岡県や富士市においても、いつこのような災害が起きるかは分かりません。今年度、吉原三中学区の3校においては、万が一の事態を想定して学校で防災食を食べる体験を行います。原田小では、夏休み前の7月22日に3校の先陣を切って「防災食を味わう日」が実施されました。子どもたちはいつもの給食とは違う防災食に興味津々で、自分のもってきたものと友達のものとは比べながら、楽しそうに防災食を食べている様子が見られました。今回の熊本での災害を見ても、非常時に食事を用意することは容易ではないことが分かります。また、防災食の食べ方を理解しておくことは、今後の自分の身を助けることにつながっていきます。災害は起きないことが一番ですが、いざ起きてしまった時には自ら考えて適切な判断や行動ができることが重要です。そのために、平常時からいろいろなことを備えておくことの大切さを子どもたちと確認しました。学校では、今後も防災教育を進めてまいります。



興味をもって防災食を食べる子どもたち

欠席連絡時のお願い

お子さんが学校を欠席する際に、保護者の皆様にはマチコミや連絡帳を使って学校に連絡をいただいておりますが、欠席理由を「体調不良のため」と書いてあるケースが時々見られます。学校では、子どもたちの出欠を出席簿に記録する際に欠席理由を入れなければならないのですが、規定に「体調不良」という欠席理由がないため、「かぜ」「腹痛」「頭痛」「小児科通院」などの理由を入れなければなりません。お手数ですが、欠席等の連絡をする場合は「体調不良」の原因となっている詳しい理由を書いていただきますようお願いいたします。



(裏面もご覧ください)

回覽